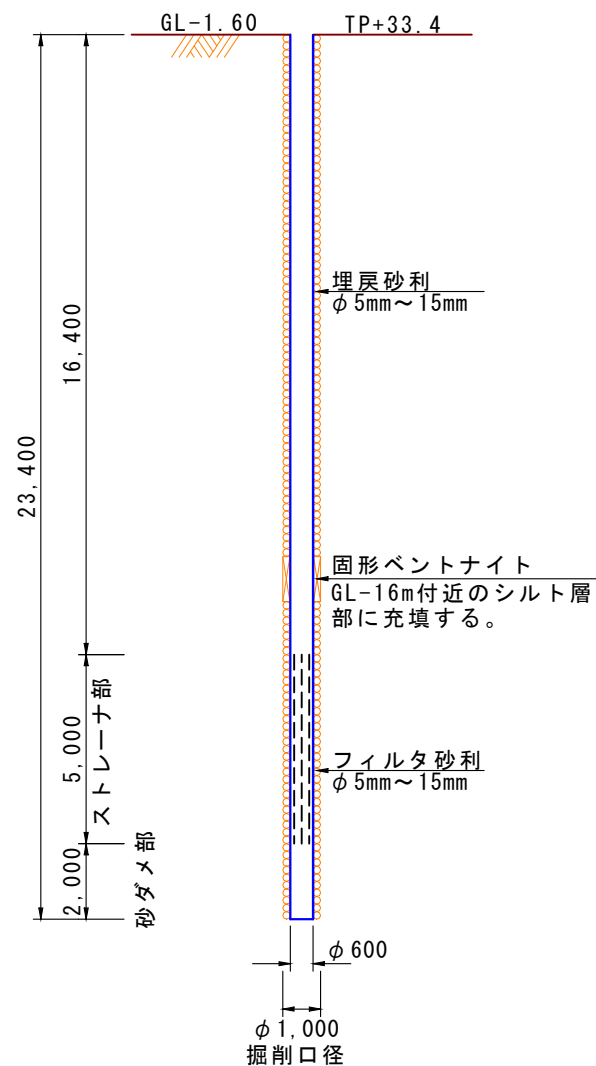


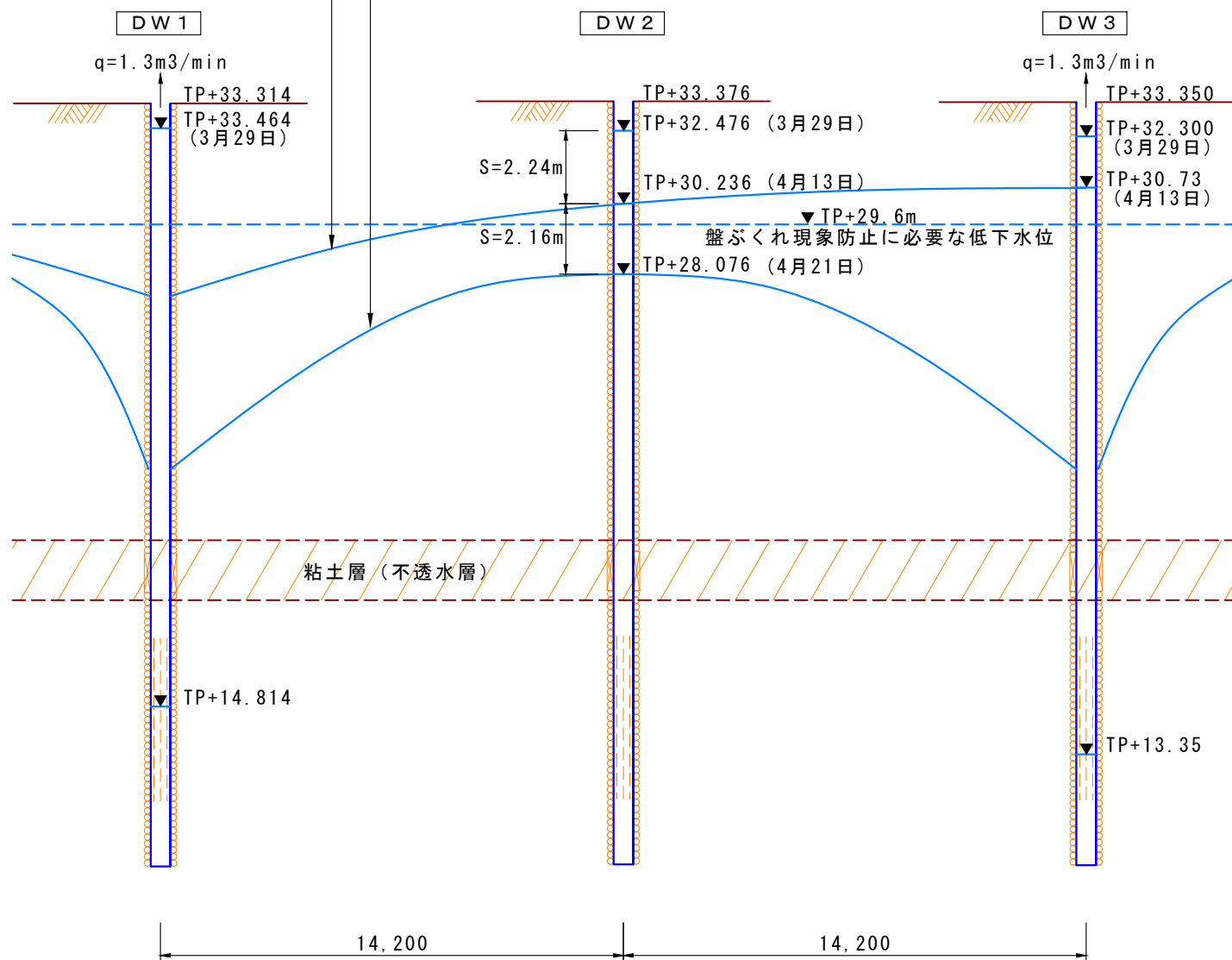
ディープウェル揚水状況の分析

ディープウェル構造図



低下水頭曲線 (DW 1 稼働時)

低下水頭曲線 (DW 1、DW 3 稼働時)



【 考 察 】

1. 盤ぶくれ対策について

DW 1、DW 3 の 2 本稼働で、盤ぶくれ現象の防止が可能と判断される。  
ただし、雨期の水位上昇を監視し、必要により DW 2 の追加稼働を行うものとする。

2. 重ね合わせの原理について

DW 1 稼働時の DW 2 内水位低下量は  $S=2.24\text{m}$  であり、DW 3 追加稼働時の DW 2 内水位低下量は  $S=2.16\text{m}$  となった。  
これは複数井戸稼働時に適用される「重ね合わせの原理」の有効性を証明したものである。